

## I-4 “やりたい気持ち”を大切にしたい生活づくり

### テーマ

お子さんの生活リズムは整ってきていますか。少しずつ自己主張が始まったこの時期に、お父さんお母さんの気持ちが子どもに伝わったこと、伝わらずに困ったこと等話し合い、子どもの“やりたい気持ち”を大切に、生活リズムを身につける「しつけ」のヒントを見付けましょう。

### Work

次の悩みに対してどんなふうに子どもとかがかかわっていますか。あなたがしていることを書きましょう。

#### エピソード① 食事の場面

この頃は、好き嫌いが激しくて、野菜を全然食べてくれない。

あなたがしていること

#### エピソード② 排せつの場面

なかなかおむつがとれません。

あなたがしていること

#### エピソード③ 遊びの場面

何でも自分のものにしたいくて、いつも友だちの玩具を取り上げてしまいます。

あなたがしていること

#### エピソード④ 睡眠の場面

眠くなるとぐずりだして手に負えません。

あなたがしていること

### 資料

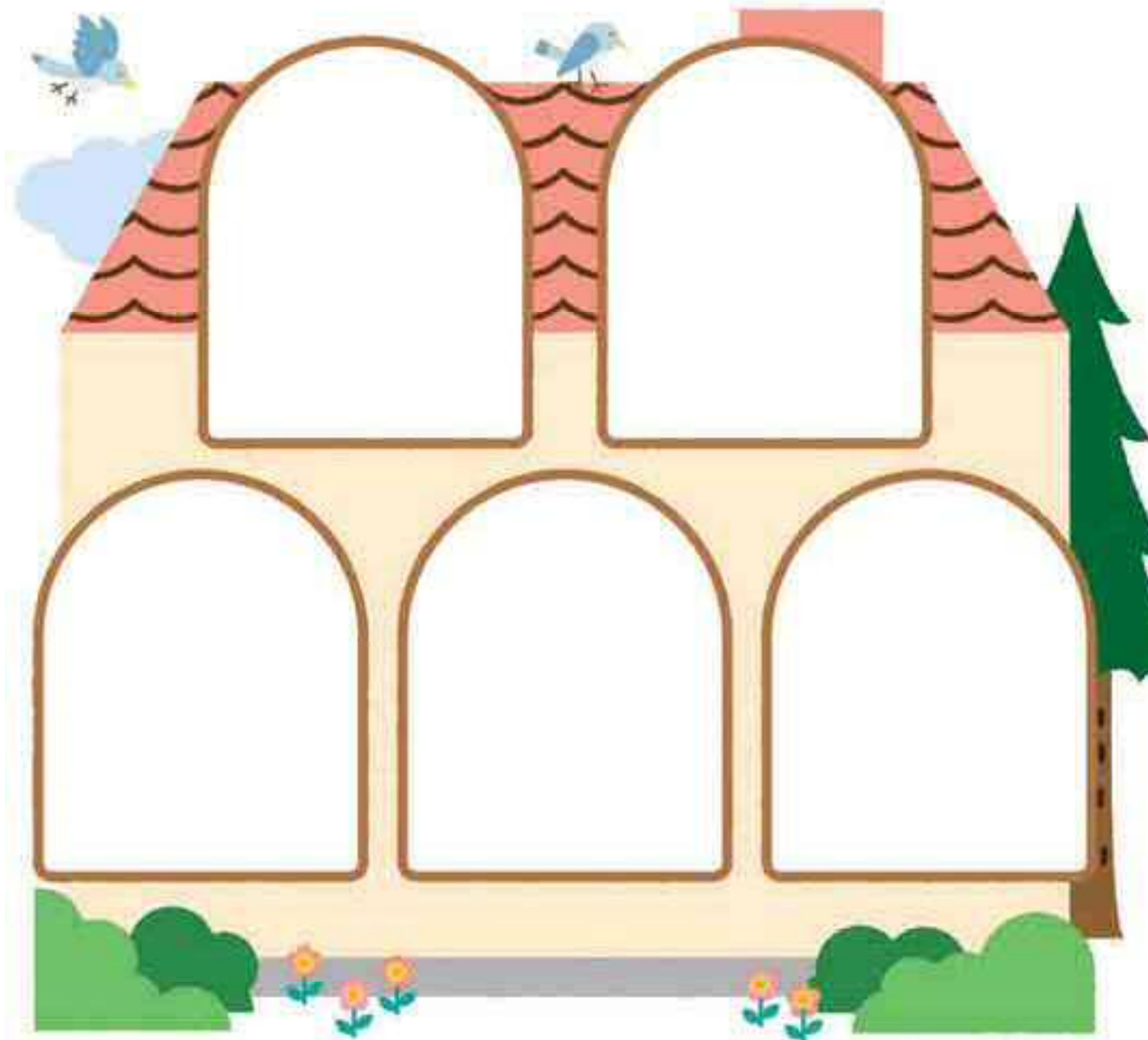
#### 子どもの生活リズムの確立と地域教育 幼児期前期(自律性、我慢・頑張る)

1歳を過ぎた頃から、食事や衣服の着脱、排せつなどの「しつけ」が始まります。それまでの自然にまかされた状態から、少し我慢したり頑張ったりさせられます。本当は面倒できゅうくつでいやだけど、親が言うからやってみようという気持ちになって、一生懸命頑張ってみるのです。叱ったりほめたり、親の根気強い、愛情に満ちたしつけのおかげで、少しずつ上手にできるようになってきます。親の言うことを聞いて頑張った、そしてほめられたという体験が、その後のしつけや教育の基盤になります。つまり親から言われたことを受け入れる関係ができるのです。こうして、食事や排せつなどが自分でできるようになり、自立の基礎ができます。

【文部科学省:家庭で・地域で・学校でみんなで早寝早起き朝ごはんー子どもの生活リズム向上ハンドブック】

グループ  
Work

**Work**に書いたことをもとに、テーマをしぼってグループで話し合い、子どもの生活リズムづくりやしつけの方法についてのヒントを見付けましょう。

**振り返りシート**

グループワークを振り返り、気付いたことを書いてみましょう。

- グループワークに参加してどんなふうに感じましたか。
- 他のお母さんの意見から得た気づきや、ヒントを書きましょう。